

2019 YOSHIO SHIMASUE CONCERT in ASHIKAGA 10.10

2019年10月10日(木)

¥3,500- (全席指定)

第19回

# しますえ・よしおコンサート

～あなたに聴いてほしい歌がある～

演奏：雄太とモンフレール

- ・愛は貴方のように
- ・カミニート
- ・人形の家
- ・愛の終わりに
- ・歌い続けて

他

《賛助出演 朝吹タツヤ》

足利市民プラザ文化ホール

栃木県足利市朝倉町264 TEL:0284-72-8511

開場 / p.m. 1:30

開演 / p.m. 2:00

主催：しますえ・よしお 足利の会

お申込・問合せ:0284-42-0294 (保々) しますえ・よしお 足利の会



## しますえ・よしお プロフィール

宇井あきら氏との運命的な出会いにより、「シャンソン」の道を志す。  
同氏の師事のもと、大学在学中より【銀巴里】に出演。並行して菅野光亮氏の指導も受け、NHKや民放各局のオーディションに合格。CD・レコード等を多数リリース。  
その楽曲は、ラジオ番組の主題歌やTVCMとしても使われ人気を博す。

海外においても1990年には、フランス公演を成功させ、ジャック・シラク元大統領からパリ市庁舎に招待を受け、直接の激励を受けている。

一方で全国各地でのコンサートやチャリティイベントも毎年開催。草の根活動としての「シャンソン」の普及、及び「歌を通しての心のふれあい」をライフワークとしている。

東京四谷二丁目にオープンしたシャンソニエ『蟻ん子』には、自身も週に2回ほどのペースで出演している。



## 朝吹タツヤ プロフィール



大学在学中よりシャンソンに魅せられ有馬泉、しますえ・よしお両氏の師事を受け、1985年より「銀巴里」に出演。

'86年には、しますえ氏と共に東京四谷にシャンソンライブサロン「蟻ん子」をオープン。圧倒的な歌唱力と軽快なトークで33年間、名実共に屋台骨を背負っている。

またシャンソンの「訳詞家」としての認知も高く、「歌に生きる」「私の神様」「ジュテーム/砂の嵐」などの代表曲は、「日本語シャンソン」のスタンダードとして、日々どこかのシャンソニエで、あまたの歌手の皆さんに、必ず歌われる人気曲となっている。

## 演奏者 紹介

### 雄 太(ピアノ)



国立音楽大学在学中より多くのクラシックコンサートに出演、研鑽を積む。  
その傍らジャズ・ポピュラー、特にシャンソンの情緒性に興味を持ち、卒業後はシャンソンを中心としたコンサート、ディナーショー、レコーディング等の活動に中心を置く。  
現在はシャンソンハウス「四谷蟻ん子」を中心に活躍中。  
新進若手ピアニストとして将来を期待されている。

### 岸 徹至(ベース)

洗足学園音楽家ジャズ専攻に入学。納浩一氏に師事、ウッドベースを始める。卒業後シンガソングライターの山本達彦のツアーに参加、プロとしての活動が始まる。

2000年浅草ジャズコンテスト金賞、2001年横浜ジャズプロムナードコンペティショングランプリ等の受賞歴がある。2009年には自身初となる「ソロベースコンサート」も開催。ジャンルを超えてエレキベースとウッドベースを最大限に活用した音楽活動を展開している。



### 上地康夫(ドラム)



小野潤とスウィングビーバースの一員として、紅白歌合戦などのTV出演やレコーディング、コンサートなど多方面に活躍。

また美空ひばり氏とは、専属のドラマーとして「東京ドームリサイタル」まで13年間活動を共にする。1995年にはカーネギーホール・ニューヨークフィルオーケストラと共演。現在はフリーランスで、ミュージカルやシャンソン等、幅広く活動中。

### 藤山正史(キーボード)

今陽子、榊原郁恵、鶴岡雅義と東京ロマンチカ等の演奏メンバーとして30数余年の経験を持つ。

近年はシンセサイザーの演奏家としてシャンソンを中心に全国各地のコンサートやレコーディングに力を注いでいる。

重要なサポートメンバーとして多くのバンドから絶大な信頼を寄せられている。

